

【優秀施工者国土交通大臣顕彰について】

良質な住宅・社会資本の整備のためには何よりも直接工事に携わる技能・技術に優れた人材が必要不可欠です。また、国民生活の向上に重要な役割を果たす我が国の基幹産業である建設産業にとって、優秀な建設技能者の確保・育成が大きな課題となっています。

国土交通省では、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事されている方々に誇りと意欲を持っていただくとともに、これらの方々を広く国民に知っていただき、その社会的地位・評価の向上を図っていくことを目的として、特に優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をされている建設技能者の方々を対象として、優秀施工者国土交通大臣顕彰を実施しています。

本顕彰は、平成4年度より実施されており、第20回目となる平成23年度は、401名の優秀な建設技能者を新たに建設マスターとして顕彰します。これにより建設マスター総数は合計7,284名となります。

今年度の傾向

顕彰者の年齢構成

	平成23年度	平成22年度	平成21年度
平均年齢	52.2歳	51.5歳	52.2歳
最も多い年齢(人数)	58歳(29人)	51歳(31人)	55歳(28人)
最低年齢	37歳	36歳	36歳
最高年齢	65歳	70歳	71歳
35～39歳の人数	2人	7人	3人
40～49歳の人数	143人	146人	131人
50～60歳の人数	235人	246人	268人
61歳以上の人数	21人	12人	19人
被顕彰者数	401人	411人	421人

顕彰者の主な職種

	平成23年度	平成22年度	平成21年度
土工	52人(13.0%)	55人(13.3%)	47人(11.2%)
大工(型枠大工含む)	46人(11.5%)	42人(10.2%)	50人(11.9%)
建設機械運転工	39人(9.7%)	32人(7.7%)	32人(7.6%)